

進路だより

福島県立猪苗代支援学校
進路指導部
令和5年7月20日



猪苗代も本格的な夏を前に暑い時期となりましたが、もうすぐ1学期も終了となります。保護者の皆様には、1学期中も進路に関する活動に御協力いただきありがとうございました。今回の進路だよりでは、1学期中に行われた進路に関する各行事についてお知らせします。

進路学習会

5月10日（水）、障がい福祉サービス事業所コパンの星佳代子様をお招きし、「進路学習会」を実施しました。「自分らしく働く」という演題で講演していただき、コパンの就労継続支援A型・B型事業についてのお話がありました。

生徒たちは、自分らしく働くために必要なことについて真剣に聞き、自分自身の今後の進路に見通しをもつことができました。

講演後、生徒たちが考えていたたくさんの質問に対しても、丁寧に答えてくださいました。



進路セミナー

7月1日（土）に、有限会社シークエンスさぎそうの家、特定非営利活動法人ふれあいづすまいる、障がい福祉サービス事業所コパン・クラージュの管理者様をお招きしました。

今回の進路セミナーでは、それぞれの事業所のブースを用意し、保護者の方々が自由に訪問して話をするワークショップ形式で実施しました。

3つの事業所から、様々な情報を得ることができました。今後、家庭や学校でどのような取り組みをし、卒業後はどのような進路にすべきかなど、今後の進路に役立てられる貴重な時間となりました。

前期校内実習



6月5日(月)から中学部は1週間、高等部は16日(金)までの2週間、前期校内実習を行いました。高等部では、学校内に工場スペースを設置し、柏屋の薄皮饅頭の箱折りをそれぞれの作業工程に分かれて行いました。また、リサイクル班ではペットボトルの分別を行うリサイクル活動を行いました。中学部では、紙すき班・リサイクル班・おしぼり班に分かれ、1週間集中して取り組むことができました。



産業現場等における実習

(前期校外実習)

6月5日(月)から6月16日(金)まで、高等部の生徒7名が校外での実習を行いました。快く実習を受け入れてくださった企業や事業所に感謝しつつ、体調管理に気を配りながら実習に臨みました。それぞれの生徒が前期実習での目標を決め、緊張しながらも真面目に取り組むことができました。実習を振り返り、実習報告会では自分の成長できた点や課題について考え、自分の進路に対する考えをより具体的なものにすることができました。

